

# 高校生が地元を英語で紹介し海外の学校との 交流を促進するノウハウを構築する

—FACEBOOKを活用して—

富山県／富山国際大学付属高等学校 教諭 林 要昭

## 概要

本研究は、本校国際英語コース生徒および英語部員を対象にした研究である。参加生徒が少しでも円滑に英語を発話できるよう、彼らが英語を使わざるを得ないような状況を創出するために、地元富山の観光地とお祭りを海外の姉妹校の同世代の生徒に向けて発信してみようという試みを実践した報告である。この報告では以下の3点について参加生徒の積極的な変容を観察することができた。参加生徒の積極性と自主性が今後、海外の姉妹校との交流にプラス効果をもたらすと同時に、他の地域の高校にも良い刺激となって海外の高校とコンピュータで交流する学校が増えればよいと願って地域を英語で紹介するという実践をした報告である。

第1点、参加生徒が地元、富山の観光地やお祭りなど、本人たちが既知っている内容に絞って発信すれば、彼らの既知の Background Knowledge をある程度活用できるので、その中から何を発信するかを検証し精選することで、次第に英語の発話が円滑になる総合的な schemata を自然に身につけていく過程を観察することができた。参加生徒の感想から、英語に対する取り組みがこの活動以前に比べると飛躍的に向上したことがわかる。参加生徒は、特に英語の丸暗記に対してより積極的に、かつ楽しく取り組むようになったと自己評価している。

第2点、英語による観光情報の発信相手として姉妹校の生徒を想定することにより、自分たちの活動が実際に役に立っているという効力感が生まれ、英語学習の自主性が高まった様子が観察できた。また、昨年4月に来校した Chesterton High School、今年の4月に来校した Pakuranga College の生徒か

らはこの活動が絶賛され、参加生徒は自らの英語力に大いに自信をつけたと自己評価している。また、地域のことを知っているようでまるで知らなかったので、このような活動は地域を知る上で大変役に立ったと自己評価している。

第3点、参加生徒が自主的に観光地での情報収集に取り組み、関係者からのインタビューからも情報を得て、それらのデータを編集し、DVDにまとめる作業に携わることでメディアリテラシーを効果的に身につけることができた。また、Facebook上の Curiosity Toyama - Travel and Culture Guide に常にアップロードすることで、英語圏の見知らぬ人々から良いコメントをもらい、富山にしながら大いに異文化理解を進めることができたと自己評価している。このメディアリテラシーを効果的に身につけて、今年度からの iPad による新たな授業形態に一刻も早く慣れるとともに、それぞれのクラスにおけるメディアリテラシー普及のリーダーとなって他の生徒に教えることができるように育てほしい。

## 1 はじめに

今回の研究報告は地元の観光地、お祭り、イベントに着目し、これを地元の高校生が英語で海外に発信すれば英語能力向上に有効であるという発想から始まった。その理由は、地元の利点で直接、背景知識が得られ、実際に出かけることのできる観光地、お祭り、イベントを教材として利用すれば、特に有名観光地に向かなくても、生徒が積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲・関心・態

度を涵養(かんよう)するモチベーションとして利用価値が高いと判断したからだ。

東日本大震災以後、日本を訪れる外国人観光客は激減し、日本政府、国土交通省・観光庁が掲げる観光立国ロードマップの実現は厳しい状況である。この減少に歯止めをかけるため、京都や奈良のような代表的観光都市だけではなく、日本の各地から海外に向けての正確で豊富な観光情報を英語で発信することが喫緊の課題であると言われて久しい。

このことの一助として、日本各地の観光資源についてそれぞれの地元の高校生が英語で発信することなら、比較的取り組みやすく、十分可能である。そこで本研究では本校生徒が地元・富山の観光地、お祭り、イベントを12か所選び、英語でデータベース化し Facebook 上に Curiosity Toyama - Travel and Culture Guide というグループを作成し、地域を英語で紹介できる実践的英語資料を作成して、ここにアップロードする。そうすることによって本校の姉妹校および興味を示してくれる海外の学校との交流促進を図ることを目的にしている。この実践の成果として生徒のコンピュータリテラシーを高め、発信型英語力を涵養すると同時にコンピュータを通しての情報収集能力を飛躍的に高めたい。このことについての本校の取り組みが何らかの参考になり、今後、英語圏の高校とネット交流を計画している高校に対して、地域の地元観光資源を英語で発信した事例と、ネット上に情報を発信した事例を提供し、ネット発信までのイニシャルスタートをサポートする一助になれば幸いである。また、英語による情報発信ができる高校生を育成すれば成果として、将来、身の回りの情報を気軽に英語で発信できる人材の育成につながることを期待される。

## 2 先行研究

### 2.1 Autonomous Learner 育成への足がかり

#### 2.1.1 2005年～2010年 SELHi 先行研究から本研究への発展

本校は2期6年間にわたって文部科学省 SELHi の研究指定を受けていた。この2期にわたる研究テーマは Project Based Learning であった。Project Based Learning は日本ではプロジェクト中心学習と

訳されている。これは教師側が指導権を持つ Task Based Learning をさらに発展させ、学習者の自由度を次第に高め教師側のコントロールを徐々に軽減させながら、学習者が主体的にプロジェクトを設定し、最終的に学習者全体の前でプロジェクトごとのグループによるプレゼンテーションを行うことで学習者の英語能力向上を図るという趣旨であった。

本研究では、参加生徒の自由度をさらに高め、英語で地元の観光案内をする際の内容、スクリプト作り、特定の場所の案内担当、カメラ担当、編集担当、ネットへの転載に至るまで参加生徒主導とした。このことでプロジェクトの内容が教科書の内容から完全に独立し、しかも地元に着した観光案内なので、参加生徒の既知の Background Knowledge をある程度活用することができた。生徒はその中から何を発信するかを自ら検証し、精選する楽しみを持つことができた。自ら学ぶ喜びで次第に英語の発話が円滑になる経験と総合的な schemata を自然に身につける訓練につながった。また、今までの Project Based Learning では聴衆が同級生と教師だけの小さな集団でしかなかった点が海外の姉妹校生、さらには富山の観光地、お祭り、イベントに興味のある全世界の英語国民に広がった。以上のことから本校がめざす Autonomous Learner の育成への足がかりになったのではないかと自負している。

#### 2.1.2 2005年～2007年 SELHi 先行研究から本研究への発展

1期目の研究対象は本校の国際英語コース1クラスのみで、成果として3年間で各グループが10分前後のプレゼンテーションができるようになった。プロジェクトの内容は教科書の内容を発展させたもので、例えば教科書で地雷について学んだ後に、グループごとに地雷の種類、国別分布、被害状況、除去方法、世界の地雷撤去運動などを、それぞれ調査研究し、プレゼンテーションをする形式で取り組んだ。3年目にはプロジェクトをバーチャル国家の形成に統一して、バーチャル国家の地理、民族、宗教、政治、経済、教育、福祉、医療などをそれぞれ仮想してグループごとにプレゼンテーションを行って理想のバーチャル国家を構築するという形式で学習者の英語能力向上を図るという趣旨であった。

本研究にはこの先行研究から、地元の観光資源の取材の中から何を選択し、全体をどのようにまとめ

るかというノウハウが十分生かされていた。また、参加生徒には国際英語コースの生徒が多いということが、1期目のSELHiの研究対象と重なった。

### 2.1.3 2008年～2010年 SELHi 先行研究から本研究への発展

2期目の研究対象は本校7クラスすべての生徒で、成果として3年間で各グループが7分前後のプレゼンテーションができるようになった。2期目の生徒は国際英語コースに比して英語の習熟度はそれほど高くなく、プレゼンテーション用のスクリプト作成と、暗記の習熟訓練に3年間で要した。3年目のプロジェクトは「家が近い人の方が遅刻が多い」「辛い物が好きな人は汗かきである」「英語が得意な人は国語も得意である」「長男、長女はしっかりしている」など、自由な仮説を立て、その仮説をグループで証明していくというプレゼンテーションを行う形式で学習者の英語能力向上を図るという趣旨であった。

本研究には国際英語コース以外の参加生徒もいるので、このときの全校あがりの教科書の丸暗記、すなわち recitation のノウハウが十分に生かされた。

## 2.2 先行研究から本研究への整合性

本研究には、英語発信能力の涵養には Project Based Learning が有効であるという本校が過去6年間取り組んできた理論を採用する。ただし地元の観光資源をネット上に発信することが Project Based Learning として有効であるという先行研究の文献は見あたらなかったため、本研究で明らかになった参加者の積極的な変容を教師の主観で判断して、地元観光資源の英語によるプレゼンテーションと海外の姉妹校、海外の学校とのコンピュータを利用した交流を促進するノウハウを構築する試みが Project Based Learning として有効であったと理解し、本校の理論は証明されたと結論したい。

# 3 取材方法の実際

## 3.1 参加生徒

取材は生徒の土、日の課外活動を主体にするため、参加生徒は英語部、国際英語コースの生徒1～2学年の約70名、国際英語コース以外の参加希望生徒を

対象とした。結果的に12か所の取材に延べ84名の生徒が参加した。反省点として国際英語コースの3年生は、英語習熟度の最も高いグループであるが、進学準備と重なるため、ほとんど参加申し込みがなかった点が残念であった。

## 3.2 取材候補地

参加生徒の出身地区や行事の重なり具合、公共交通機関利用による取材の可能性の3点から絞って、参加生徒が以下の12を選んだ。

- ① 砺波市チューリップフェア
- ② 立山弥陀ヶ原および雪の大谷
- ③ 高岡市戸出町の七夕祭り
- ④ 神通川河川敷第66回北日本新聞納涼花火大会
- ⑤ 高岡市戸出地区の納涼祭
- ⑥ 高岡市大仏および旧市街金屋町周辺
- ⑦ 鱈の寿司工場見学および製造体験
- ⑧ 南砺市井波町瑞泉寺および井波町彫刻家工房
- ⑨ 富山県の世界遺産の2集落：  
世界遺産五箇山相倉集落合掌造り  
世界遺産五箇山菅沼集落合掌造り
- ⑩ 富山市環水公園カナルパークより
- ⑪ 岩瀬運河観光船にて中島閘門を経て岩瀬地区廻船問屋森家へ
- ⑫ 富山市八尾おわら風の盆

今回の取材に選ばれなかった8か所は、高岡市御車山祭り  
砺波市子ども歌舞伎  
南砺市福野よたか行燈祭り  
南砺市城端曳山祭り  
高岡市伏木地区けんか山祭り  
高岡市中田地区かかし祭り  
高岡市福岡地区つくりもん祭り  
水見市早借地区獅子舞

である。この8か所の観光地、イベントはいずれも交通不便地、平日開催、夜間開催などのため高校生の取材には障害が多く実現できなかった。

## 3.3 取材方法

参加生徒はチームで現地に向かい、ビデオ・写真の撮影を行う。また、地元の人への取材も行う。撮影、既存の映像収集、編集はすべて生徒が行う。その成果をウェブサイトに掲載し、海外向けに発信する。生徒は発信の際のナレーター役も務めそれぞれ

の英語ナレーション部門を分担する。ウェブサイトの更新も生徒が中心に行い、構築から運営までを行う。この活動を12回続けることで、一般生徒が英語学習に使うことのできる12通りの教材が整う。このDVDを授業でも利用することで、本研究実践に直接参加していない将来の本校生徒にも英語学習の生きた教材が提供されることになる。

### 3.4 班別分担作業の手順

延べ84名の参加生徒は7つの作業班に分かれて同時進行で主に放課後を利用して作業にかかった。7つの役割分担は以下のとおりである。この7つの作業班は参加生徒の話し合いの中で生まれた。これは彼らが作った英語資料作りのマニュアルである。取材した観光地、お祭り、イベントをネット上に英語で投稿することが目的なので、すべての作業マニュアルはネット上への英語での投稿に集約したものになった。以下がその班分けと仕事分担内容を示すマニュアルである。

#### 3.4.1 情報収集班

日本語で集められるだけの資料を集め、インターネット上にある情報もできるだけ集める。大量の情報の中から、英語圏の高校生ならどんなことを知りたいだろうかという参加生徒同士の話し合いの中で取材内容を絞り込んだ。そして自分たちの感性で発信してみたい部分をハイライトして、紹介内容決定班に渡す。ここまですが情報収集班の役割である。

#### 3.4.2 紹介内容決定班

ハイライトされた部分だけを集め、取材用に再構築する。日本語で読んでみて、長さがちょうどいいか、ちゃんと面白い内容か、海外の高校生が見て資料性が高いかをチェックして全体のイメージに納得がいたら英文作成班に渡す。ここまですが紹介内容決定班の役割である。

#### 3.4.3 英文作成班

日本語の内容に必ずしもこだわらず、日本人高校生の英語レベルで作成するというコンセプトで平易な英語表現を選んで、できるだけ短い英文を作成する。スクリプトは英語教員にチェックしてもらいながら自分が納得いくまで修正する。自分の担当するスクリプトは取材当日に合わせてできるだけ暗記す

る。しかし、すべてのスクリプトを暗記してカメラの前で話すことは経験上無理だったので、取材の場面、場面に合わせてカメラのレンズ上方に張り付けるA3用紙のカンニングペーパーを作る。そして完成したカンニングペーパーを取材機材準備、移動班に渡す。英文を作りナレーションをするまでが英文作成班の役割である。

#### 3.4.4 取材機材準備、移動班

カメラ、録音機材、カンニングペーパーの準備、出発時間、解散時間、家庭への連絡、取材参加者の家から取材地までのそれぞれの旅費、集合時間、連絡方法も把握して、グループを引率する。取材が終わったらカメラ、機材をそのまま編集アフレコ作業班に渡す。ここまですが取材機材準備、移動班の役割である。

#### 3.4.5 編集アフレコ作業班

撮影した情報を学校で何度も見て取材の順番や、どこと、どこをつなげるとストーリー性が出るかを見極め、アフレコを入れる場所を決めアフレコの原稿を仕上げたて読んで録音する。つなぎ合わせとアフレコを終えてメディア発信班に渡す。ここまですが編集アフレコ作業班の役割である。

#### 3.4.6 メディア発信班

作成途中の映像やインタビューの一部をFacebookのCuriosity Toyama - Travel and Culture Guideに投稿する。そして海外からの反応を分析する。反応の良かった箇所をさらにつなぎ合わせてDVD作品完成班に渡す。ここまですがメディア発信班の役割である。ネット上で検索する場合はFacebookのCuriosity Toyama - Travel and Culture Guideである。

#### 3.4.7 DVD作品完成班

DVDの共通部分に4校の姉妹校用のイントロダクションの部分をつけて各姉妹校用にDVDをパッケージに仕上げたて完成する。本校の姉妹校は4校あり、アメリカ合衆国インディアナ州のChesterton High School、アメリカ合衆国バージニア州のAntietam Elementary School、オーストラリア、ニューサウスウェールズ州コフスハーバー市のBishop Druiitt College、ニュージーランド、オークランド市のPakuranga Collegeである。



# 4

## 実践内容

### 4.1 砺波市チューリップフェア

生徒の作品の一部を掲載する。

#### STUDENT A

砺波チューリップ公園でチューリップフェアが開催されています。メイン会場では、約7ヘクタールの公園で、約500品種のチューリップが楽しめます。期間中、100万本以上の満開のチューリップで花畑が埋め尽くされます。これらのチューリップは、富山県の生産者や市民が大切に育成したものです。チューリップは砺波市の特産品で、富山県の県花にもなっています。富山県は国内最大の生産地です。

The "Tonami Tulip Fair" is held in the tulip park. On the main grounds, we can enjoy about 500 species of the flower on 7 hectares. During the festival, the flower gardens are filled with one million full-bloomed tulips! These are grown by farm producers and civilians in Toyama Prefecture. Tulip is Tonami city's speciality and also a prefectural flower of Toyama. Toyama is the nation's largest producer of tulips.

#### STUDENT B

チューリップ四季彩館では、一年中チューリップを楽しめます。冷凍保存した球根を育てることで、計画的にチューリップを開花させています。この栽培手法でチューリップを一年中鑑賞できるのは、ここだけです。

In the Tulip Museum, we can enjoy tulips all year round. By controlling iced-bulb tulips, tulip producers can grow them according to a planned schedule. This is the only place where you can watch tulips all year long by using such cultivation techniques.

#### STUDENT C

砺波市はオランダ・リッセ市と姉妹都市です。今年は姉妹都市を締結して20年です。20周年を記念して、オランダに関連したチューリップが展示してあります。またミュージアムでは、チューリップの歴史と文化を学ぶこともできます。

Tonami city has a sister-city relationship with

Lisse City, Netherlands. This year, it is the 20th anniversary of their sister-city relationship. Tulips, which are from Netherlands are also displayed to celebrate this. You can learn the history and culture of tulips in the museum.

■ 写真 1 : 砺波市チューリップフェア



### 4.2 立山弥陀ヶ原および雪の大谷

#### 4.2.1 立山, 弥陀ヶ原, アルペンルート

生徒の作品の一部を掲載する。

There are varied transportation systems that visitors can use to travel around Mt. Tateyama. There's the Toyama local train, Tateyama cable car, Tateyama highland bus, Tateyama tunnel trolley bus, Tateyama ropeway, Kurobe cable car, Kanden trolley bus, and local bus. If you start your journey from Toyama city, it takes 50 minutes to get to Tateyama Station, the foot of North Alpine mountains where you can transfer to steep Tateyama Cable Car to ascend about 500m to Bijodaira (977m). There, from the plateau, you switch to a bus for about an hour to Murodo (2450m). This bus trip is hard to miss that

provide a drawing glimpse down to 350m Shomyodaki Falls, then climbing above the traverses and the highland, called Midagahara (1930m), which is covered with marsh dotted with many small ponds which are being protected by Ramsal Convention from this year.

#### Tateyama Cable Car

The Tateyama Cable Car ascends more than 500 meters from Tateyama Station to Bijodaira Station in only seven minutes. The one way fare is 700 yen.

#### Highland Bus

This bus requires roughly 50 minutes for the journey between Bijodaira Station and Murodo. The one way fare is 1660 yen. There are a few bus stops along the way. During spring, the bus runs along the Tateyama Snow Corridor.

#### Tateyama Trolley Bus

Electric powered buses transport travelers through the tunnel between Murodo and Daikanbo. The one way journey takes 10 minutes and costs 2100 yen.

#### Daikanbo

This is the transfer station between the Tateyama Trolley Bus and the Tateyama Ropeway. The small station has an observation deck with great views of the mountains.

#### Tateyama Ropeway

This 1.7 kilometer long ropeway operates without any support towers between the lower and upper stations, making it Japan's longest one-span ropeway. The one way trip takes seven minutes and costs 1260 yen.

#### Kurobedaira

Kurobedaira is the transfer station between the Tateyama Ropeway and Kurobe Cable Car. The station offers a restaurant, souvenir shop and beautiful views of the surrounding mountains.

#### Kurobe Cable Car

This cable car runs entirely inside a tunnel, which is a rarity among cable cars. The one way journey between Kurobedaira and Kurobeko Station (next to Kurobe Dam) takes five minutes and costs 840 yen.

#### Kanden Trolley Bus

Electric powered buses transport travelers through the tunnel between Kurobe Dam and Ogizawa. The one way journey takes 15 minutes and costs 1500 yen.

### 4.2.2 雪の大谷

生徒の作品の一部を掲載する。

You can walk through the snow corridors with high walls both sides. In a heavy snow year, it reaches 20 meters high. The bus route from Bijodaira Plateau to Murodo Plateau are being carved into the heavy snow field of the area and it creates the high snow walls on both sides of the bus route. You can enjoy the scenery annually from

■ 写真 2 : 雪の大谷



the last week of April to the first week of June.

### 4.3 高岡市戸出町の七夕祭り

生徒の作品の一部を掲載する。

7月7日は七夕祭りです。日本全国各地で七夕祭りが開催されます。しかし、ここ高岡市戸出町の祭りは、最も由緒あるものと言われています。7月3日から7日まで、街は幻想的な雰囲気に包まれます。

People in Japan celebrate July 7th all over Japan. This is known as “Tanabata” festival. Toide Tanabata festival is known as the most traditional one with the longest history among others in Toyama. The entire alley of the town is decorated with fantastic illumination starting from the first day of the 3rd to the last day of the 7th.

町には飾りつけされた七夕が並びます。七夕の飾りつけは赤提灯や紙で作られた飾り、短冊がついています。竹には人々の願い事が書かれた短冊がついています。短冊に願い事を書くと、願いがかなうと言われています。

You can see many decorated bamboo stems with lanterns, paper crafts, and message banners. You can read dreams and wishes of each and every individual on these banners. They say that your wishes come true when you offer banners to the decorations.

特に、特大の七夕が目を引きます。特大七夕は、高さが10m以上で、提灯100個以上、電球80個以上がついています。これらの七夕は住民らが制作し、「七夕コンテスト」で出来を競い合います。毎年約20の団体が参加しています。住民主体で大規模な七夕祭りが残っているのは、戸出七夕祭りだけです。

The size of some tall “Tanabata” decoration surprises you. It can reach more than 10 meters with over 100 lanterns using more than 80 light bulbs. The local people have the contest to choose the best decoration among about 20 entries every year. Toide is the only town that has the festival of this magnitude involving entire local people.

■ 写真 3 : 高岡市戸出町の七夕祭り



### 4.4 神通川河川敷第66回北日本新聞納涼花火大会

生徒の作品の一部を掲載する。

Hanabi or firework Festival all over Japan is one of the biggest events during summer vacation. A research shows that 1447 A.D. was the oldest record of hanabi in Japan. Since 15 century, Japanese has developed the craftsmanship and the technology to make highest quality fireworks known as Hanabi. There used to be two famous firework artist families who had manufactured complicated hanabi: Tamaya and Kagiya. These two artist families had competed each other and had contributed to the hanabi making technology significantly. Those are the days of Edo period but even now, people shout “Tamaya~” or “Kagiya~” when they admire the splendid display of very complicated hanabi, just like Kabuki admirers shout their favorite actors’ family name at the top of their lungs. Although Japanese fireworks are being exported to all over the world now, the meaning of the fireworks are



quite different from that of Japan. In other countries, they use fireworks for such auspicious occasions like independent day, memorial day, or new year's celebration. In other words, they use fireworks as a part of the events. In Japan on the contrary, Hanabi is the main event, therefore it usually last for an hour using 3000 balls in the case of Toyama Hanabi Festival today. It started from 1947 as the visual requiem for the souls of 3000 people who were killed by the U.S. Air Raid on the night of August 1st in 1945. In short, I can safely say that Japanese hanabi traditions are deeply connected to requiem to the deceased, just like shoro-nagashi or floating lanterns on the rivers as well as famous 5 big bonfires on the hills in Kyoto.

■ 写真 4 : 神通川河川敷第66回北日本新聞納涼花火大会



#### 4.5 高岡市戸出地区の納涼祭

生徒の作品の一部を掲載する。

This is the site of NORYOSAI or Summer outdoor party. This festival is for local community and everybody is invited including little children to senior citizen. The host is not any individual but the community itself! People take turns to be annual committee members. The committee members have had many meetings to plan this annual outdoor party. They enjoy doing so as well as serving their own community. You buy food and beverage ticket beforehand so that the committee has enough money to support this huge outdoor party. You can also buy food and beverage tickets on the sites. These food and beverage stands sell, beers, soft drinks, ice cream corns, fried noodles, and barbeque food. This outdoor party is to promote good community spirit and serves as a reunion for many people who used to go to the same school in same school year. You can enjoy such variety shows like local singing groups, local

■ 写真 5 : 高岡市戸出地区の納涼祭





dancing groups or free Karaoke where you can be a star singer. They also have BINGO with many prizes donated from farmers, shops in this local community.

## 4.6 高岡市大仏および旧市街金屋町周辺

### 4.6.1 高岡市大仏

生徒の作品の一部を掲載する。

高岡には大きな大仏があります。

There is the Great Buddha in Takaoka city.

大仏とは仏教における大きな仏像のことです。

A Great Buddha is a big statue in Buddhism.

日本語では「大仏」と言います。

In Japanese, we say “Daibutsu”.

高岡の大仏は奈良、鎌倉とともに、日本の3大大仏の1つになっています。

It is one of the three biggest Buddha in Japan, with the other two being in Nara and Kamakura.

高さは約16m, 重さは65トンになります。

The statue has about 16 meters tall and weighs is 65 tons.

顔を見てください。大きな顔ですね。顔の大きさは約2mです。

Look at his face. It's a big face. The length of face is about 2 meters.

頭に丸い物体が見えます。

You can see some round objects on his head.

これは「らほつ」(螺髪)と呼ばれるもので、仏像の髪の毛です。

Those are called “Rahotsu” which are hair of Buddha.

全部で648個あります。

There are 648 Rahotsu in all.

背中にある円形の輪は「光背」(こうはい)と呼ばれるものです。

There is a big round object on his back. It is called “Kouhai”.

光背は後光を表現しています。

Kouhai expresses halo.

高岡大仏は1221年に作られました。

The Takaoka Great Buddha was built in 1221.

最初は木製でした。

At first it was made from wood.

焼失と再建が繰り返され、1933年に現在の銅製の

大仏が完成しました。

But it has often fallen victim to fire. In 1933, the current statue was completed which was made from copper.

高岡は銅器で有名ですが、この大仏は高岡の職人の技術の結晶でもあります。

Takaoka is famous for copper-working and it is the fruit of master's technique in Takaoka.

1981年に高岡市指定有形文化財に指定されました。

In 1981, it was registered tangible cultural property of Takaoka.

高岡大仏の下には回廊があります。

There is the corridor under the statue.

そこには仏画が展示されています。

A series of Buddhist paintings is displayed here.

地元高岡の画家が手がけています。

These paintings are drawn by a local painter in Takaoka city.

ここにある仏画は衆生に諸行無常の理を教えるためのもので、あらゆる変化を積極的に受け止めることによって、よりよく生きる勇気を与えてくれるものです。

The Buddhist paintings teach people that things never stay the same and provide the courage to admit and accept the changes positively to live your life better.

たくさん小さな仏像もあります。仏教の真理を伝えています。

You can also see many small Buddha statues that encourage you to admit and accept the truth.

仏画は一般的に、仏教の世界観や仏の姿を描いています。

Generally, a Buddhist painting is used to promote the teaching of Buddha.

その中の1つに九相図があります。美しい女性がついには髑髏(どくろ)になっていくという絵です。

One of these is a painting called ‘Kuso-zu,’ a picture of beautiful lady gradually changed into skeleton in the end.

ちょっと怖い絵ですね。

These are a little scary picture ...

木製で作られた仏像の頭部が安置されています。

The previous head of Great Buddha which was made of wood is enshrined here.

この仏頭は1900年の高岡大火をまぬがれたものです。Although the original temple and the wooden statue was destroyed by 1900 big fire, the head of the original statue escaped the disaster.

高岡大仏は高岡市の中心部にあります。

Takaoka Buddha is in the center of Takaoka city.

高岡駅から徒歩で10分で行けます。

It takes 10 minutes from Takaoka JR station on foot.

万葉線を使えば、坂下町駅を降りて徒歩数分です。

If you use Manyo line, it takes a few minutes from Sakashita-Machi station.

#### ■ 写真 6：高岡市大仏および旧市街金屋町周辺



#### 4.6.2 旧市街金屋町周辺

生徒の作品の一部を掲載する。

私たちは高岡駅前にいます。

We are in Takaoka JR station.

高岡駅前には、人気のあるマンガ「ドラえもん」のモニュメントが飾られています。

In front of the station, there are monuments of “Dora-emon” which is popular cartoon character.

The cartoonist of “Dora-emon” was born in

Takaoka.

これらのモニュメントはすべて銅でできています。

These characters from his cartoons are all made of copper.

高岡市は富山県で2番目に大きい市で、銅とともに深い関係にあるんですよ。

Takaoka is the second largest city in Toyama Prefecture and has the long history of copper and iron casting craftsmanship and technology.

高岡市は鑄物で有名な都市です。

Takaoka city is well known for manufactures using new and traditional casting technology.

その始まりは400年も昔にさかのぼります。

That history of the casting dates back to 400 years ago.

1609年に、加賀藩の前田利長公が高岡に居城を移しました。

In 1609, Toshinaga Maeda, the landlord of the domain of Kaga, moved his castle to Takaoka.

そのときに、高岡を発展させるため、7人の鑄物師を呼び寄せ、鑄物業を興しました。

At that time he invited 7 casters and developed the casting industry.

高岡銅器の中心地となった金屋町は、今でも当時の面影を残しています。

Kanaya town was the center of Takaoka copper casting, and it has still retained the atmosphere of those days.

家の前には格子がついています。

Old houses have grating windows.

これは千本格子と呼ばれるもので、店舗によく使われました。

This is “Senbon-Goushi”. This style of window was often used for shops of streets.

通りには、銅像がたくさんあります。

On the street, there are many copper statues commemorating the history of this place.

鑄物技術は現代にも受け継がれています。

Casting technology has been long cherished and has handed down from generation to generation.

銅器の全国シェアは90%です。また、アルミ製品は高岡市の主要産業の1つです。

Today, the companies in Takaoka has 90% share of the domestic market of the copper ware. Also,

aluminum materials and products are one of the key industries in Takaoka.

## 4.7 鱒の寿司工場見学および製造体験

生徒の作品の一部を掲載する。

### SCENE 1

富山にはおいしい食べ物がたくさんありますが、その中でも人気なのが「ます寿司」です。

We have a lot of delicious food in Toyama, and one of the most popular is *Masuzushi*, or trout sushi.

ます寿司は富山の郷土料理 (local dishes) で、鱒 (trout) をご飯にのせた寿司です。

*Masuzushi*, or trout sushi is a kind of pressed sushi prepared with trout fillet over vinegared rice.

「ますのすし」とも言います。お土産としても人気があります。

*Masuzushi* is sometimes called as *Masunosushi*, and it is the most popular food item among Toyama tourists.

### SCENE 2

ます寿司は一般的な寿司とは違います。

木製の容器に入っています。この容器を曲物 (わっぱ) と言います。

*Masuzushi* is put in a round shaped wooden container, or *Wappa*.

ここに笹を敷き詰めます。

The entire portion of vinegared rice and trout fillet is neatly wrapped with natural bamboo leaves.

そこに酢めしを入れ、塩漬けた鱒の切り身が並べられます。

The trout fillets are evenly salted and put on round shape vinegared rice.

食べるときは、ピザみたいに切り分けて食べます。

We cut this round shaped sushi just like pizza and enjoy the morsel as a finger food. Please be careful not to eat bamboo leaves.

一段重ねと二段重ねのものがあります。

There are single portion and double portion containers that you can choose.

### SCENE 3

富山市内にある安住橋の周辺には、ます寿司のお店がたくさんあります。

On both streets of Azumi bridge in Toyama city, there are many manufactures of *Masuzushi*.

安住橋周辺にお店が多いのは、昔、富山市内に流れる神通川にいた桜鱒を使用していたためです。

The reason why there are a lot of *Masuzushi* manufactures on both streets of the bridge is because the cherry trouts was captured most from this point of Jinzu River.

ます寿司は、地元の人だけでなく観光客も買うので、午前中のうちに売り切れてしまいます。

Not only local people, but also tourists buy this famous *Masuzushi*, they are usually sold out before the noon.

富山県内にはます寿司のお店が30店舗ほどあります。どれも味が違います。

There are as many as 30 *Masuzushi* manufactures in Toyama prefecture. Each and every *Masuzushi* has uniquely different in flavors.

### SCENE 4

ます寿司の歴史は平安時代までさかのぼります。富山藩主前田利興は吉村新八の手になるます寿司を時の将軍吉宗に献上したのが始まりです。

The history of *Masuzushi* dates back to Heian period. Toshioki Maeda was a feudal lord of Toyama. He presented the best *Masuzushi* prepared by the legendary chef, Shinpachi Yoshimura to the Generalissimo Yoshimune. His excellency really liked it and the sushi became famous in Japan.

江戸時代後期から明治時代にかけて、ます寿司は茶屋の食事として食べられていました。また、一般家庭でも食べられるようになりました。

*Masuzushi* was served as a light meal in tea houses in late Edo period and in early Meiji period. It was gradually accepted into common households.

明治45年から「ます寿司弁当」が販売され、富山を訪れた観光客も食べ、お土産になりました。

From 1912, *Masuzushi* lunch package was commercially available. From that time *Masuzushi* has been well and widely received among tourists to Toyama.

### SCENE 5

ますのすしミュージアムに来ました。

Here now, we are in Masunosushi Museum.

ここは、ます寿司を作っている会社「源」が運営している、ます寿司の博物館です。

This museum is managed by a company, Minamoto, that is manufacturing *Masuzushi*.

「ますのすし」という名前を広めたのが、源です。

It is Minamoto that spreads the commercial name, Masunosushi.

ますのすしミュージアムでは、ますのすしの製造を見学したり、調理を体験できたりします。

You can see the inspection process and manufacturing process of *Masuzushi* in this factory. レストランや売店もありますよ。

There are some restaurants and food stands which sell *Masuzushi*.

今から、ますのすし作りを体験してきます。

Now, we are going to experience making *Masuzushi*.

#### ■ 写真 7：鱈の寿司工場見学および製造体験



## 4.8 南砺市井波町瑞泉寺および井波町彫刻家工房

生徒の作品の一部を掲載する。

### SCENE 1 (STREET)

井波町にやって来ました。井波町は、木の彫刻で有名な町です。

We are in Inami town in Nanto city. Inami is well-known for its wood carving craftsmanship.

特に井波町の彫刻は「井波彫刻」と呼ばれています。“Inami carving” or INAMI-CHOKOKU is the brand name of wood carving craftsmanship in Japan.

井波彫刻は、高い技術と伝統が江戸時代から受け継がれてきました。

The meticulous wood carving craftsmanship has been the tradition of Inami for about 400 years ever since Edo period.

井波彫刻は経済産業省大臣から「伝統的工芸品」に指定されています。

It has been registered as a traditional handcraft by the ministry of finance and industry.

現在、約200名の彫刻士が井波にいます。

Today, there are about 200 wood carving craftsmen in this town.

彫刻のモチーフになるのは、自然、動物、神話などです。

The artists has chosen their motif of sculptures from nature, animals and myth.

どれも生き生きと表現されていますね。これらはすべて職人が手作業で彫ったものです。

These handmade sculptures are so life like.

### SCENE 2 (TEMPLE 1)

ここは井波にある瑞泉寺です。

This is Zuisenji temple.

とても立派な門がありますね。門にはいろいろな彫刻が飾られています。

This temple gate is well known and we can see various sculptures in many places on this gate.

その中でも龍を彫った「火伏せ龍」という彫刻が有名です。

Among these sculptures, “Hibuse-Ryu” or water dragon is the most famous. Please find the dragon yourself.

瑞泉寺は何度も火事の被害にあいましたが、この龍



が出てきて火を消し止めたという伝説があります。  
This temple had a fire many times. Legend has it that this water dragon emerged from the sculpture and put out the fire, thus prevented the disaster.

### SCENE 3 (TEMPLE 2)

これは「勅使門」です。

This is “Chokushi-mon” gate, only the royal messengers and high rank priests are allowed to use.

この門の両脇には、「獅子の子落とし」という彫刻があります。

The gate has “Shishi no ko otoshi” or tigers kicking their siblings out from the cliff sculpture in each sides.

井波彫刻の元祖である番匠屋七左衛門の作で、日本彫刻の最高傑作の1つとされています。

This famous motif was carved by the artist named Banshouya Shichizaemon who was the founder of Inami wood handicrafts. This set of sculptures is one of the masterpieces of Japanese wood carving. Legend has it that tigers select and grow the siblings that are strong enough to climb up the cliff after they are thrown away. This is what shishinoko or siblings of tigers and otoshi or throwing away means.

### SCENE 4 (HISTORY & TRADITION 1)

井波彫刻の発祥はこの瑞泉寺と関係があります。

Inami wood carving and Zuisenji temple are deeply connected.

江戸時代中期に、焼失した瑞泉寺を再建するために、京都から前川三四郎が派遣されてきました。

In the middle of Edo period, the famous wood sculptor, “Maekawa Sanshiro” was sent to Inami from Kyoto to rebuild devastated Zuisenji temple by the fire.

そのときに、井波の大工だった七三衛門ら4人が前川三四郎から彫刻技術を学びました。

At that time, Shichizaemon and other three local carpenters learned the technique from Maekawa Sanshiro.

これが井波彫刻の始まりです。

This was the origin of Inami wood carving.

### SCENE 5 (HISTORY & TRADITION 2)

明治時代になると、欄間など、一般向け製品が主流になりました。

In the Meiji period, consumer products became mainstream of Inami wood carving such as Ranma. 欄間とは、和室の装飾の1つです。花鳥風月を表現しています。

Ranma is a set of two decorative wooden panels for the Japanese-style guest room. It depicts the various beauties of nature.

木彫りの彫刻は、すべて職人の手によって製作されます。

Wood carving is all handmade by skilled craftsmen. 職人は200種類以上の鑿(のみ)を使い分けて製作しています。

They use more than 200 different kinds of chisels.

鑿の刃は1つ1つ異なります。たくさんの鑿を使い分けることで、細かな表現ができています。

Each blade of chisel has uniquely different shape. The artists choose the best fit chisel to express meticulous details of their sculpture.

### SCENE 6 (HISTORY & TRADITION 3)

このような高い技術を習得するには長い年月が必要です。

It requires long time to master the necessary techniques.

現在、27人の職人が伝統工芸士に認定されています。27 masters are registered as a traditional craftsman today.

また、46名が一級井波木彫刻師に登録されています。Also, 46 artists are certified as a first-class Inami wood carving craftsman.

いずれも長い実務経験と技術が求められます。

Each qualification requires expertise and experience in a long time and high-skilled technique.

今は神社仏閣の装飾だけでなく、表札や置物などが作られています。

Today, Inami wood carving creates not only ornaments and decorations for temples and shrines, but also creates doorplates and stationary articles.

### SCENE 7 (MUSEUM)

道の駅に、「木彫りの里 創遊館」があります。ここ

には大きな七福神の大彫刻があります。

“Michino Eki” or the landmark station at Inami is called “Kiborinosato Soyukan”. There are big statues of Seven deities of good fortune.

また、工房もあり、職人の技術を見学することもできます。

There are also craft centers there. You can visit and see the artisans actually working at their workshops. 敷地内に井波彫刻総合会館があります。ここでは彫刻作品がたくさん展示されています。

Inami Wood Carving Museum is there. Many sculptures are displayed.

井波彫刻の歴史を学ぶこともできます。

Visitors can also learn the history of Inami wood carving.

井波に来たら、ぜひ彫刻を見てください。

When you have a chance to visit Toyama, please don't forget to visit Inami town and see the meticulous wood carvings yourself.

■ 写真 8 : 南砺市井波町瑞泉寺および井波町彫刻家工房



## 4.9 富山県の世界遺産の2集落

### 4.9.1 世界遺産五箇山相倉集落合掌造り

生徒の作品の一部を掲載する。

日本の美しい風景の1つが、山村です。

The mountain villages; one of the most beautiful scenes that Japan has to offer to the world.

ここ富山県にある五箇山合掌集落は、その美しい原風景を現代に残している貴重な集落です。

Gokayama Gassho villages have epitomized one of the rare Japanese original scenes.

五箇山合掌集落は、菅沼と相倉の2つのエリアがあります。

Gokayama Gassho villages consist of Suganuma area and Ainokura area.

これらの集落は、隣の県にある白川郷とともに、1995年に世界遺産に登録されました。

These villages together with Shirakawa-go village in neighboring prefecture are designated as World Heritage in 1995.

自然と調和した昔からの家と生活様式を、現代に残しています。

The area has retains old traditional housings and eco-friendly life style to this day.

#### SCENE 1

ここは相倉合掌造り集落の入り口です。

Here is the entrance of Ainokura Gasshozukuri village.

奥に合掌造りの家が見えますね。さっそく行ってみましょう。

You can see some Gasshozukuri houses over there. Let's go and see.

#### SCENE 2

合掌造りとは、古くから五箇山に見られる建築様式のことです。

Gasshozukuri is an old architecture in Gokayama. 茅葺屋根が特徴的です。両手を合わせて神仏を拝む形に似ていることから、合掌造りと言われていました。

The unique appearance of the building reminds of the shape (zukuri) of the two palms putting together in praying (Gassho). So Gasshozukuri means the building in the shape of the praying palms.

屋根は三角形で、60度の急こう配です。

The roofs are always shaped as steep angle as 60 degrees and look like triangle.

五箇山は豪雪地帯で、積雪量は多いときで5mにもなります。

Gokayama is known as a heavy snowfall area. In some year, it reaches 5 meters.

そのため、雪を降ろしやすい形になっています。

So people made the roofs very steep so that snow would not stay on the roofs easily.

Gasshozukuri buildings have supported traditional Japanese living style in the remote mountain communities of Gifu and Toyama in Japan. Gasshozukuri buildings are made of thick lumbers and durable ropes with no nails. This style of buildings is strong enough to make three to four stories high with steep thatched roof. In the past, each house had the capacity for 20 to 30 people living together so that they worked together and also shared many resources together. Some people believe that the ancestors of these people were refugees of the defeated warriors of Heike clan from 12 century. They became farmers and have supported each other hidden in the deep mountains for centuries and have maintained their traditional living style to this day. The areas have been chosen as the World Heritage in 1995. The modern style of living has changed the traditional houses but people have been trying to keep them to maintain the good old Japan.

### SCENE 3

中に入ってみましょう。

Let's go inside the building.

1階は広く、土間には囲炉裏があります。

First floor is spacious and there is Irori fireplace.

囲炉裏とは伝統的な日本の家にある炉のことです。主に暖房や調理に使われます。

Irori fireplace is a sunken hearth in traditional Japanese houses. The family members got together around the Irori fireplace because it heated the entire house and they also used the Irori for cooking.

この1階は生活の場でもあり、生産の場でもありました。

This first floor was a living quarter for many households. People were born here, lived here and died here.

食事のときは囲炉裏を囲んで、家族団らんの時間を過ごしました。

When people have meals, they surrounded this Irori fireplace and enjoyed their meals together as one big family.

また、冬季にはここで和紙や火薬の原料を作っていました。

In the winter, they also made handmade Japanese paper or Washi. They also produced gunpowder. In other words, Gokayama was a hidden arsenal for Kaga government.

生活と仕事の場を兼ね備えているのが合掌造りの特徴であり、他の古民家とは異なる点です。

The Gasshozukuri houses provided work places as well as living quarter together and that has made these houses unique among other traditional Japanese houses.

2階、3階では、養蚕が行われていました。

In second floor and third floor, people had the sericultural industry or silk producing industry.

### SCENE 4

1階に入ると、曲がった梁があることにすぐ気づきます。

You can see bended beam as soon as you enter the first floor.

これは「チョンナバリ」と言われていて、曲がった木をそのまま使っています。

It is called 'Chonna bari' or using naturally bended beams are used as they are for building.

### SCENE 5

2階に上がると、雪の重さに耐えるための建築構造を見られます。

When you get to the second floor, you can see these durable architecture against heavy snow.

屋根の側面には、ハネガイという木がクロス上に組み込まれています。

You can see the 'Hanegai' or crossed wooden beams here.

これがダンパーとしての役割を果たし、屋根に重さ

が加わっても、家が歪まないように支えています。  
This 'Hanegai' or crossed wooden beams worked  
as a dumper and withstood the tremendous weight  
of snow.

#### SCENE 6

3階に上がると、屋根の頂点を見ることができます。  
頂点は「サンガイアマ」と呼ばれています。

On the third floor, you can see the top of the roof.  
We call it, 'Sangai-ama.'

この部分はマンサクの木の繊維を使って固く固定してあります。

The strong ropes made from the fiber of Mansaku,  
or witch hazel were used to construct the top of the  
roof.

#### SCENE 7

このような合掌造りの家は、建築に釘や金属を使  
っていません。

Gasshozukuri buildings are made of thick lumbers  
and durable ropes with no nails.

それでも豪雪に耐える構造になっており、大工技術  
の高さが見られます。

Gasshozukuri requires the skills to carefully  
assemble the entire building to dissipate the weight  
of the heavy snow.

また、自然と生活の調和も見られます。

It also supported the eco-friendly ways of living.

1階の囲炉裏の煙が、2階、3階へと伝わっていき  
ます。

The heated smoke from the fireplace in the first floor  
went up to 2nd and 3rd floor.

囲炉裏の煙でいぶされることで、建築材はより強  
くなり、虫にも喰われなくなります。

These smoked beams and ropes are hardened and  
became insect free.

また、夏の暑い時期でも、家の中はそれほど暑  
くなりません。

Also because of the spacious building plans and  
thick thatched roofs, it is cool enough in hot and  
muggy Japanese summer.

#### SCENE 8

茅葺屋根は定期的に交換する必要があります。

We need to replace this thatched roof regularly.  
相倉の場合、集落上部の育成地で茅を育てています。  
In Ainokura, people grow thatch in the upper part of  
the village.

10月20日を過ぎた頃から、刈り取りが始まります。  
Reaping will start after October 20th.

#### SCENE 9

15年ですべての茅葺を交換できるように、2、3年  
ごとに一部分だけを取り替えています。

They replace the part of thatch every two, three  
years so that all the thatch will be replaced in 15  
year cycle.

現在は相倉史跡保存顕彰会が市の担当者と計画的に  
替えています。

This replacement system are carefully observed by  
the committees of the historical society of Ainokura  
together with the city government.

また、作業を行う地元の森林組合で技術の継承が行  
われています。

Also the necessary skills are maintained by the local

#### ■ 写真 9 : 世界遺産五箇山相倉集落合掌造り





lumber union.

中央の広場では、茅葺屋根を間近に見ることができます。

We can take a close look at how the thatched roof constructed at the central plaza.

ここで記念写真を撮るのもいいですね。

Let's go climb the hill to take a good picture together.

## 4.9.2 世界遺産五箇山菅沼集落合掌造り

生徒の作品の一部を掲載する。

### SCENE 1

ここは菅沼合掌集落です。

This is Suganuma village with many thatched roof houses.

ここにも合掌集落の家がたくさん残されています。

A lot of Gassho houses are preserved here.

また、集落全体を一望できるので、良い撮影スポットにもなっています。

You can see the entire village from here, so it is the ideal spot for photo taking.

集落を歩いてみましょう。

Let's take a walk through the village.

### SCENE 2

相倉集落と同様、国指定の史跡、世界遺産に登録されているため、景観を変えることはできません。

Just like Ainokura village, you can't alter anything here because the entire area is designated as National Historical Site as well as World Heritage.

合掌造りの家はもちろん、田んぼやあぜ道、小川の流れなど、昔からの景観がそのまま残っています。五箇山に住む人々は、この景観を守り、後世に伝えるため、さまざまな努力をしています。

Being a part of National Historical Site as well as World Heritage requires a lot of effort to maintain current environment including paddy fields, connecting paths, brooks and so on.

### SCENE 3

景観だけでなく、歴史や文化も残さなければなりません。

The requirement also extends to retain the tradition and the culture.

ここ民俗資料館では、五箇山の主産業だった塩硝の

生産を伝えています。

In this folklore museum, the making of saltpeter or potassium nitrate for gunpowder are displayed.

塩硝から火薬を作るには5年の歳月が必要でした。

The entire process takes 5 years to complete gunpowder starting from saltpeter making.

火薬製造は軍事機密であったため、山奥にある五箇山は人目にふれない絶好の製造地でした。また、そのクオリティは全国トップレベルでした。

Gunpowder making was the top military secret of the each feudal country and they had to produce it in a remote area secretly. So Gokayama was the ideal remote place where nobody paid much attention. The top quality of the gunpowder from Gokayama was renowned all over Japan at that time.

当時の道具や貴重な資料が展示されています。

You can see the actual tools and valuable documents of this secret mission of the area.

### SCENE 4

菅沼集落から少し離れた所に、国指定重要文化財の村上山住宅があります。

This is Murakami Mansion, a few minutes drive from Suganuma village. It is designated as a national cultural asset.

村上山は残っている合掌造りの中でも大きな家屋です。Murakami Mansion is one of the biggest Gasshozukuri buildings.

また、改造が行われず、古い時代の作りをそのまま残しています。

The building has been well preserved as original with no alterations in between.

五箇山は火薬の原料である塩硝（硝石、niter）と和紙を作っていました。

Gokayama area had produced saltpeter and Japanese Washi paper.

ここでも、塩硝作りをはじめ、その他の民俗資料を見ることができます。

You can also learn the history of saltpeter making and see other folklore documents.

### SCENE 5

入り口には塩硝生産の作業場であった塩硝まやがあ

ります。

You can see the remain of the saltpeter pit at the entrance hall.

一段低くなっています。ここで土や山草を交互に積み重ね、腐敗させて塩硝土を作りました。

The hall was made low because of the pit. The pit was carefully filled with many layers of soil, the necessary herbs, and other ingredients. Accumulated layers started fermentation and chemical transformation to produce saltpeter.

その塩硝土を煮詰めて、塩硝の結晶を取り出していました。

The solution was boiled down and purified many times to create pure crystal of potassium nitrate.

#### SCENE 6

1階は広く、中央に囲炉裏があります。昔の人は、ここで家族団らんの時間を過ごしました。

The first floor is very spacious with the fireplace in the center. All the family members had shared their time in this living quarter.

当主の方にお話を聞くこともできます。

The master of the Mansion can orally explain the history of the house upon the request.

#### SCENE 7

2階に上がってみましょう。2階には昔の民俗資料がたくさん展示されています。

Let's go up to the second floor. The floor has been transformed to museum of many folklore items.

また、合掌造りの家の構造を間近に見ることができます。

You can also have a close look at the structure of Gasshozukuri building here.

#### SCENE 8

観光案内所では、神事に使われる料理を見ることができます。

In tourist information center, there are displays of traditional dishes for religious occasions.

また、伝統的な衣装も見られます。

There also are displays of traditional dance costumes.

とてもきれいな衣装ですね。これは「こきりこ節」

のときの衣装です。

They are beautiful costumes; they are used for "Kokiriko" dancing.

「こきりこ節」は日本最古の民謡です。

"Kokiriko" is the oldest folksong in Japan.

この楽器は「ささら」と呼ばれているものです。

This is a traditional musical instrument called, "Sasara".

108枚のヒノキを編み合わせたもので、打ち鳴らして舞います。

The dancers of "Kokiriko" hold the instrument with both hands and shake it to create a dry crapping sounds from 108 pieces of cypress wooden panels put together with strings.

踊りは、平安・鎌倉・室町からの流れを残す優美な舞です。

The traditional stylish choreography is full of elegant movements which are reminiscent of Heian, Kamakura and Muromachi periods.

#### SCENE 9

五箇山は「民謡の宝庫」と言われています。

It is said that Gokayama is a treasure box of folk songs.

民謡は口頭伝承によって受け継がれてきました。

These folk songs have been sung from generation to generation by oral tradition.

代表的なものに「こきりこ節」や「麦や節」があります。

"Kokiriko" and "Mugiya" are two well-known examples of the folk songs.

これらは無形文化財に指定されています。

These two songs and dances are designated as intangible cultural assets.

「麦や節」の場合、衣装は紋付袴衣装で、杣(そま)刀と笠を持って踊ります。

When people dance "Mugiya", they wear special robe with each family crest dyed on it, and they also wear "Hakama" or Japanese male skirt. They also carry sword and the huge hat called, "Sugegasa."

五箇山は豪雪地帯です。

Gokayama is known as heavy snow country.

冬になると、積雪は5メートルにもなります。

In some winters, the precipitation reaches 5 meters.

しかし合掌集落がライトアップされる期間があり、写真家をはじめ、多くの人が夜に訪れます。

However many photographers visit Gasshozukuri villages during light-up season in winter.

#### 4.10 富山市環水公園カナルパークより

生徒の作品の一部を掲載する。

富山駅のすぐそばに、富岩運河環水公園があります。There is Fugan Unga Kansui Park, or Canal Park near Toyama JR station.

約10ヘクタールの敷地に美しい水辺と橋があり、人々の憩いの場となっています。

There is a recreation place with beautiful water-front park and the bridge in the 10 hectares.

実はこの公園、富山の工業の歴史と深い関係にあるんですよ。

Actually this park has related deeply to the history of industry in Toyama.

この場所は、以前は運河でした。

This water-front park had been used as a canal.

洪水対策で神通川を整備しました。しかし神通川は市内の中心を流れていたため、都市発展の妨げになっていました。

We have Jinzu river in the center of the city. The river used to cause many flooding before it was tamed by many man-made efforts. However the location of the river had hindered the development of Toyama city because the flow divided the city in half. そこで1935年に都市発展のため富岩運河が作られました。

In 1935, the river was connected to Iwase port by the man-made canal between Toyama and Iwase so that people could use the canal to develop the economy of the city. Actually 'Fu' is the first Chinese character of Toyama (富山) and 'Gan' is the first Chinese character of Iwase (岩瀬); that is why they named this canal, Fugan (富岩) Unga. 'Unga' of course means canal.

この運河は神通川につながっており、船での運送に役立ちました。富山湾までの5.1キロを、200トンの船が往来しました。

This canal connected the port to the city through Jinzu river. 200 ton class ships could enter deep to the city by cruising 5.1 kilometer canal.

また、運河沿岸には工場が建設されました。こうして、富山の工業化に貢献しました。

Many chemical plants moved to the banks of Fugan Unga canal and had helped the industrialization of the city.

しかし時代は変わり、物資の輸送は船からトラックに移り変わっていきました。運河は使われなくなり、水質汚染も問題化しました。

However, times have changed, and the means of transporting materials and merchandises have changed from ships to trucks. The canal had been no longer used and the stale water caused serious water pollutions.

そこで1975年に富山県は、市内にある貴重な水面を活用するために、この一帯を再開発しました。現在では美しい公園になっています。この公園のテーマは「水と人とのつながり」です。水を活用した美しい環境が整っています。

Then, in 1975, the city of Toyama decided to redevelop and transform the canal into water-front park. The main theme of the park is 'to connect water with people.' You can enjoy the beautiful water-front park now.

公園の入り口には、「泉と滝の広場」があります。

At the entrance of the park, there is the "Spring and Waterfall Square".

2階から水が滝のように流れてきて、とてもきれいです。

There are twin towers on each side of the Tenmon Bridge. There are two waterfalls from the upper floor of the towers. They are very beautiful.

また、湧水をイメージした水盤もあります。夜にはライトアップされます。

There is also a water basin designed like a water spring. It is lighted up at night.

公園内で最も目を引くのが天門橋です。

The Tenmon Bridge is the most eye-catching structure in the park.

あそこまで歩いてみましょう。

Let's walk to the bridge over there!

公園内はウォーキングコースになっています。水のそばを歩くので、とても涼しいです。

There is a walking course spread through the park. It feels very cool walking beside the water-front.

天門橋に着きました。この橋は58メートルあります。エレベーターで上のフロアまで行けます。

We reached the Tenmon Bridge. It is 58 meters long. We can visit the upper floor of the tower by elevator.

とてもきれいな景色ですね。よく晴れた日には、立山連峰を一望できます。

It's a beautiful view, isn't it? You can see the Tateyama mountains from here when the weather is fine.

ここには「赤い糸電話」があり、カップルに人気です。橋の両端で糸電話で話せるんですよ。

The "Red String telephone" here is popular among couples. You can talk with someone on the other side of the bridge using this string phone.

公園内にはレストランや喫茶店があります。このスターバックスは、水辺と橋を眺めることができるので、世界で最も美しいスターバックスの1つと言われています。

There is a restaurant and a cafe in the park. You can see the water-front and the bridge from this

Starbucks through all-glass windows. You should know that this Starbucks is said to be one of the most beautiful one in the world!

人工島の「あいの島」では、野鳥観察ができます。双眼鏡をのぞいて、野鳥や水生生物を観察できます。You can watch wild birds at the man-made Aino Island. You can enjoy watching birds and water creatures using binoculars.

#### 4.11 岩瀬運河観光船にて中島閘門を経て岩瀬地区廻船問屋森家へ

生徒の作品の一部を掲載する。

環水公園から岩瀬までをつなぐ、水上ラインがあります。この船に乗って岩瀬浜の近くまで行けます。さっそく乗ってみましょう。

There is a boat service connecting Kansui park with Iwase. You can go all the way to Iwase Beach by this boat. Lets get on!

船は2種類あります。

There are two kinds of boat services.

1つは、太陽電池で動くソーラーボートです。7時間以上、28マイル以上を走ります。

One is solar panel motorboat capable to run over 28 miles per hour for 7 hours.

もう1つは家庭用コンセントで充電できる電力ボートです。

The other is also rechargeable electric motorboat from ordinary domestic outlets.

両方とも電気動くので静かで環境にも優しいんですよ。

Both are using electricity; they run smoothly and eco-friendly.

途中で中島閘門（Nakajima Rock）を通過します。水位を調節するための施設です。

神通川とは2.5メートルの水位がありますが、これで問題なく通行できます。

The boat runs through Nakajima Water Rock that levels the 2.5 meter water gap between the water-front side and Iwase port side so that the boat continues to travel.

岩瀬カナル会館に到着しました。ここから少し歩いて、もう少し船と水と富山の歴史について学んできます。

We have arrived at the Iwase Canal Building. Let's

■ 写真10：富山市環水公園カナルパークより





walk a little from here and learn about Toyama's water-front history and its link with ocean trade.

国の重要文化財に指定されている森家にきました。We are in front of Mori residence which is national Important cultural asset.

江戸時代から明治時代まで、回船という船を使った商売が発展していました。

From Edo period to Meiji period, the ocean trade using "kaisen" vessels had been flourished.

回船は非常にたくさんの商品を積むことができたので一航海で当時の千石、現在の通貨単位で1億円ほどの利益を上げたそうです。

'Kaisen' vessels could carry so many merchandises at one time that the benefit per one journey could reach 'Sengoku' or equivalent of 100 million yen in nowadays.

そこで回船のことを千石船とか倍船とか呼ぶことがあるのです。

That is why the 'Kaisen' vessels were sometimes called, 'Sengoku-bune' or 'Baisen.'

倍船は交易の利益を倍にするという意味に加えて、当時の政府が船の長さでその税金を決めていたので、賢い商人達は幅を倍にした船を建造して税金対策をしたことから倍船と名づけられました。

'Baisen' means double-ship or the ship that doubles the trading benefit. Also the then government taxed each ship by its length, not by its width so the clever merchants built the ship with double width for tax evasion purpose. That is another reason why the vessels are called, 'Baisen.'

これは、船で物品を運送するだけでなく、船であちこちに行って商品を直接売るというスタイルです。

The vessels are not only designed to transport merchandise but also designed to sell merchandise on the ship. Merchants of Mori clan visited many places and had direct trading using their "Kaisen" vessels as their mobile shopping arcades.

森家はこの商売で財を築き岩瀬の町の発展に大きく寄与しました。

By this direct trading, Mori clan had made a fortune and could benefit the Iwase town in many ways.

海上輸送が黄金期を迎えた江戸時代、商売のための荷物を積み、各地の港に立ち寄りながら大坂から蝦

夷地（北海道）まで往復した交易船を、当時の人々は「北前船」と呼びました。

Ocean trade had flourished in Edo period and the vessels between Ezo, or Hokkaido and Osaka connecting many ports along the route used to be called 'Kitamae sen.'

京都や大坂を「上方」というように、山陰方面の人々が、能登半島を含む北陸地方を指して呼んだ言葉が「北前」だったのです。

'Kitamae' means the regions of Noto peninsula and Hokuriku just like 'Kamigata' means the regions of Kyoto and Osaka at that time.

■ 写真11：岩瀬運河観光船にて中島閘門を経て岩瀬地区廻船問屋森家へ



#### 4.12 富山市八尾おわら風の盆

おわらは夕方からの踊りで通りが込み合うので、参加生徒は八尾在住のアメリカ人男性（富山大学教授）と、八尾博物館元館長の2人をインタビューした。アメリカ人男性のインタビューは日本語に、元館長のインタビューは英語に翻訳してあるので、生徒の作品の一部のみを掲載する。

#### 4.12.1 アメリカ人男性インタビュー

What are the future plans like for the festival and it's future?

これからお祭りはどうなっていくのでしょうか。何か見通しはありますか。

That's good question. I think it's always going to continue.

いい質問ですね。このお祭りは続くと思いますよ。Because first of all it's part of the history and traditional area. And people want to keep it going. In addition, there is a economic fact there. It's very important economically.

何しろ歴史の一部、文化の一部になっていますからね。皆さんも残したいと思っていますし、経済的にも潤うので、とても重要なお祭りなんです。

Are you saying that more people are coming?

これからますますにぎやかになるということですね？

So I think it's going to become more convenient. It's gonna become easier to access. It also going to get longer.

そうです。だから、これからもっと交通は便利になると思いますよ。それに期間ももっと長くなるでしょう。

What do the town people think of that?

町の人はお祭りが大きくなって大丈夫でしょうか。

People are very friendly and very generous and all these little homes they have doors like this  
町の人は親切だし、とても開放的だから大丈夫です。こういう小さな家も全部このように開け放すでしょ？

and open it up and the family will make a party, and people walking down the street will be invited in, and you can get a sense of real Japanese culture.

家を開放してみんなが楽しむんです。通りを歩いている人も招かれるんです。これが日本の本当の文化ですね。

People are welcoming folks strangers into there home and it's really really beautiful.

この町の人は知らない人もみんな大切にもてなしてくれるんです。本当にすばらしい伝統です。

Also my children are the part of community, うちの子供たちはこの街の住人ですからね。

Because of my children, I feel more connected to

the community.

子供たちを通して私はこの街の一員という気がしています。

See I'm a foreigner, I can never been really a part of the community. But my family is a part of the community and it helps me feel more deeply connected. So I feel wonderful.

私は本当は外人です。でも家族がいるおかげで、強いきずなを感じています。ここが大好きですよ。

#### ■ 写真12：富山市八尾おわら風の盆（アメリカ人男性インタビュー）



#### 4.12.2 博物館元館長インタビュー

The term, KAZE-NO-BON originally depicted the recess time just before the rice harvesting and has been used around Yatsuo township.

忙しくなる稲の刈り取り前に1回休もうというのが風の盆の本当の意味で、八尾町周辺で使われていた言葉です。

Japanese folklore has been rediscovered and appreciated again at the time of the new American cultures being flooded into Japan.

アメリカの文化が日本に入ってきたときに、日本にはこういうすばらしいものがあるということで民謡が見直されました。

The newly discovered Japanese tradition provides essential motivation and the propelling power to create a new tradition. Thus OWARA has spread through the nation.

それが、これから新しいものを作るというときのなくてはならない1つの力というものになりました。そこでおわらが全国に広がっていくわけです。

This folklore is one of the best among Japan. Culture-loving people of Yatsuo has created this top notched and distinctive culture with distinctive four seasons with heavy winter that separates the area from the rest of the world. Among rich folklore traditions in Hokuriku region, enchanted OWARA is no doubt the best of all.

民謡としてはこれほど味のある民謡は日本の中でもないと思います。八尾の人間が芸能が好きだったことに合わせ、雪国である、四季がしっかりあるというような風土において、北陸の民謡の中でもおわらは特筆していると思います。また、それが魅力的なだとも思います。

OWARA is also an interesting collaboration of refined Tokyoites and vulgar Artistes: they have learned from each other and the new choreographings and chantings have emerged.

東京の文化人と八尾の田舎者がぶつかり合い、新しいものができ、踊りや歌が洗練されていったのもおわらの面白いところです。

Younger generations are still very active to inherit OWARA dance.

今も八尾のおわらを踊っているのは青年団が中心です。This dance has represented Japanese folklore and has invited to international events. The dance has been proudly chosen as nation number one many times.

日本の代表的な民謡という形において国際舞台にも行っており、民謡としてはどこへ出しても恥ずかしくない民謡で、日本一にも何回もなっているんです。The troop has invited as the Japanese representative to UNESCO folklore music conference and stage performing art in Paris.

ユネスコ国際民族音楽会議、舞踊祭において日本代

表としてパリに行っています。

It is amazing to develop and maintain such an epitome of folklore through history. We have owed this success to the efforts of many people.

よく、こういうおわらの民謡がで上がったと思います。それはたくさんの方が努力したからだと思います。

Having enough personnel and staffs for the festival is getting difficult every year.

だんだん人を確保することが大変になってきています。How to give this tradition to the next generation has become the main issue.

これからの後継者をどう育てるかは大変な課題です。

■ 写真13：富山市八尾おわら風の盆（博物館元館長インタビュー）



## 5 結論と今後の課題

本研究では参加生徒が地域を英語で紹介し作成した実践的英語資料をネット上で発信した。参加生徒の興味・関心は高く、地元富山について深く知るこ



とができたことと自己評価している。そして生徒が運営する Curiosity Toyama - Travel and Culture Guide は昨年5月から夏休みの終わる頃まで、盛んにアップロードした甲斐があって、英語圏から多くの人の励ましの言葉をいただいた。特にかつて富山県に在住したことのある外国人から多くのコメントを頂戴した。しかし、夏休み以降のアップロードが極端に少なくなってしまう、その結果、現在では Curiosity Toyama - Travel and Culture Guide にアクセスする人は誰もいない状態である。これで生徒はネット上での話題性の、はやりすたれの速さを痛感した。また、継続してアップロードしていくことの難しさも実感した。今回の本研究は次の URL で確認することができる。http://www.tuins-h.ed.jp/curiosity-toyama/

今後の課題としては海外の姉妹校はそれぞれ日本語プログラムを持っているのだから、彼らの地域を日本語で紹介し本校の生徒に紹介してくれるなど、コンピュータを利用した交流を大いに促進したいものである。また当初の目的の1つであった近隣高校に、地元密着型で、コンピュータを利用しての英語による発信活動を広めようという試みは、残念ながら、海外の学校とのコンピュータを利用した交流に

興味・関心を寄せていただいたり、お手伝いをしたりした近隣の高校は今のところない。しかしながら、本校が特に施設設備が優れているわけでもなく、特に英語教育に実績があるわけでもない、本校にできて、近隣の高校にできないはずはないと信じている。今回の本校の実践報告からヒントを得て、より優れたコンピュータを利用して海外の学校と交流を促進してくれる学校が現れることを念じている。

## 謝 辞

本研究を行う貴重な機会を与えてくださいました公益財団法人日本英語検定協会の皆様、並びに選考委員の先生方に厚く御礼申し上げます。とりわけ、私の研究を担当していただきました東北大学教授、村木英治先生には、有益なご助言・ご指導を賜りまして深く感謝いたします。そして直接の担当をさせていただきました公益財団法人日本英語検定協会の小笠原様・染谷様にはこの場を借りまして御礼の言葉を送らせていただきます。最後に本研究に協力してくれた富山国際大学付属高校の学生諸君に深く御礼申し上げます。

## 参考文献

- 『JTB REPORT』.(2002). ツーリズムマーケティング研究所編。  
 『JTB REPORT』.(2003). ツーリズムマーケティング研究所編。  
 『JTB REPORT』.(2004). ツーリズムマーケティング研究所編。  
 金川由紀.(2008).「観光英語についての一考察:観光英語とは」.『平安女学院大学国際観光学部 平安女学院大学研究年報』8. pp.37-44.  
 金川由紀.(2010).「観光地を訪れることを軸とした『観光英語』の授業についての報告:グループワークと英語を発信することに重点を置いた英語授業」.『平安女学院大学国際観光学部 平安女学院大学研究年報』10. pp.28-39.  
 『観光白書』平成16年版.(2004). 国土交通省編。  
 『観光白書』平成17年版.(2005). 国土交通省編。  
 『観光白書』平成18年版.(2006). 国土交通省編。  
 『観光立国への道』臨時増刊号(2006).トラベルジャーナル編。  
 国土交通省.(2005).「訪日外国人観光客の受け入れの推進」. Retrieved from <http://www.mlit.go.jp/common/00043173.pdf>

- 国際観光振興機構(JNTO). <http://www.jnto.go.jp/>  
 橋本和也.(1999).『観光人類学の戦略—文化の売り方・売られ方』. 京都:世界思想社。  
 前田勇.(2003).『21世紀の観光学』. 東京:学文社。  
 佐々木土師二.(2005).『『旅行者モチベーション』及び『旅行経験』の基本的特性の分析—旅行者行動に関して提示した仮説の検証の試み』.『関西大学社会学部紀要』36(2). pp.133-165.  
 佐藤悦夫.(2011).「富山県五箇山地域の観光客動向に関する一考察—2010年調査を中心に」.『富山国際大学現代社会学部紀要3』. pp.103-137.  
 塩沢正・吉川寛・石川有香(編集).(2010).「英語教育と文化:異文化間コミュニケーション能力の養成」.『英語教育学体系/大学英語教育学監修』第3巻. 東京:大修館書店。  
 総務省.(2008).「外国人が快適に観光できる環境の整備に関する政策評価 総務省 通訳案内士の利用拡大」. Retrieved from [http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/2009/pdf/090303\\_1\\_2.pdf](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/2009/pdf/090303_1_2.pdf)  
 『数字が語る旅行業』.(2004). 社団法人日本旅行業協会編。  
 『数字が語る旅行業』.(2005). 社団法人日本旅行業協会編。  
 『数字が語る旅行業』.(2006). 社団法人日本旅行業協会編。



アメリカ合衆国インディアナ州チェスタートン高校からの感想文(2012年6月)

ハースト・アンティ

Questionnaire about Toyama Tourist video production: Your Name here Andy Hurst

☆How did you feel about Japanese high students creating the video of Toyama tourist spots in English as one of English club activities? I thought that the video was wonderful because it showed that the students really had an interest in English and wanted us to know about the area.

☆What can you suggest to make the video more meaningful from the viewpoints of U.S. students? Have more content ~~from~~ about sports clubs, after-school activities, etc. We want to know how your life is different!

☆How was their English quality? Please give some advices to improve their English quality: Their English is great (much better than my Japanese). I would just say that they should keep speaking English (especially with Alex + Lisa).

☆What would you like to know about Toyama in English besides historical sites, national parks and traditional festivities? Good restaurants, school sports, recreational activities

☆Do you think it is good idea to use YOU TUBE to let other high schools in the world know about Toyama? Do you think we would get some positive feedback from viewers of YOU TUBE? I think that using YouTube would be a good idea. However, don't listen to most of the comments that are posted. (YouTube is full of idiots ~~English~~ English people who are mean.)

☆Do you agree that a project like this in English would improve our communication skills in English? If so, why do you think so? I think it definitely helps with reading fluently. However, speaking with actual people in a conversation will improve you the most.

☆Please give some other advice and ideas to your Japanese English club friends to improve communicative skills in English: Have days where you only speak English to other club members. Speak, converse, etc. in English. As you do it more, you will improve.

☆Please feel free to give any positive comments to your Japanese English club members: you're doing great, keep it up!

Thank you for your time.

English club of Toyama University of International Studies High